

Since 1977



Visual Sign & Planning
FUJITA CO.,LTD.

Fujita Times

2015年7月号

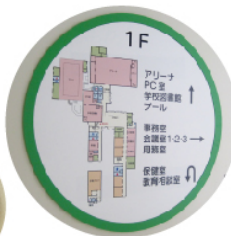
どこよりも「室名札」に誇りを持ち どこよりも「最短」でお届けし
どこよりも「楽しく」笑顔で仕事をするそれが株式会社 フジタ です。

フジタがご提案した納入事例やサインの様々な事を情報誌を通して、ご紹介致します。

納入
実績

稲城市立南山小学校・南山小学校学童クラブ

施設の屋内・屋外サインを製作しました。



今回ご紹介させて頂くのは「稲城市立南山小学校・南山小学校学童クラブ」です。
平成27年4月に開校されたばかりの新しい小学校です。今年の3月に屋内・屋外のサインを納入させて頂きました。設計の方がこだわられた円形のサインを多く製作致しました。小学校の所々に円をモチーフにしたものが多く、また木と淡い黄色を使った内装や外観のデザインとなっており、納めさせて頂いた木枠のサインや円型のサインがよくなじんでいました。各階の案内板に円の直径1000mmのものがああります。こちらは、サイズや仕様の変更が多く納めるまでに試行錯誤を繰り返しました。特に外枠にご希望の色が出るよう塗装に気を配り製作致しました。



塗装のお話をしましたが、設計の方は各階のテーマカラーにこだわられており、1Fグリーン、2Fオレンジ、3Fブルーとそれぞれのサインに塗装や印刷をほどこしています。各階のテーマカラーを印象づけるサインとなりました。コーナーサインは上下にテーマカラーが入り色面積も広く、インパクトがあるものとなっています。



昇降口から入って目の前にある案内板は弊社の木製フレーム案内板の別注サイズです。案内板の中の「みなみやましようがっこうでまなぶ」地図は分かり易いようポイントとなる部分を塗りつぶし解説を入れるなど内容に工夫を凝らしました。

屋外の階段手摺の格子に取付ける案内板は、格子を挟み込む形の取付け方にしています。また、小学生が触られる高さなので、怪我などをしないよう角を丸くするといった工夫をしました。バリアフリーという点では、今回屋外に点字サインを多く納めさせて頂きました。



私は今回原稿で携わらせて頂きましたが、規格以外のサインは初めての仕様が多く、フジタの製作とお客様との擦り合わせが大変でした。打ち合わせも長引き承認を頂いてからすぐに製作に入り、出来たものから納めていく忙しい現場でしたが、無事納品することができ嬉しく思います。

東京支店 田中



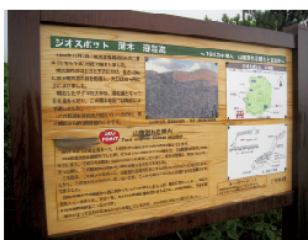
納入レポ！「東京都島しょ保健所三宅島出張所」

今回の納入レポは東京都島しょ保健所三宅島出張所を紹介致します。
先週約20年振りに離島の仕事で、三宅島へ行ってきました。
三宅島への行き方は、調布空港（ここのサインもフジタの商品です。）から飛行機で行く方法と、夜10時半に竹芝桟橋から出航する船で行く方法の二通りの行き方があります。
私達は当然予算の都合（笑）で、二等客船で行ってきました。東京湾から見る東京タワーやレインボーブリッジ、高層タワーの夜景はとてもきれいでした。
翌朝5時に下船して最初に気付いたことは硫黄の匂いです。2000年に噴火がありその時には全島民避難、15年経っても未だ一部は立入禁止区域があるのです。そして現在でも凡そ1000人が、島に戻ってこない理由もなんとなく理解できました。
さて、仕事は前々日の台風で、掲示板・ホワイトボードが届いていないといったアクシデントがあり、当日も雨が降り雨男の本領を発揮していました。島ということあって、一度も打合せに現場へ来ていなかったのが心配もしていたのですが、順調に職人さんに取付して無事終了しました。



私たちの仕事は、最後の仕上げに施工することが多いです。故に、他の業者さんの仕事に傷をつけないよう注意を払います。今回はベテランの職人さんに施工をお願いしたことも、上手く完了した理由のひとつだと思います。

最後に、現場に時々入ることは、建築業界の最新事情がよくわかるので勉強になります。変化に対応できる会社でい続けるためにも、時々顔をだしていきたいです。
三宅島は山手線の内側とほぼ同じ面積で、車で一周約1時間程で回れる小さな島です。東京に戻る前に一周してきたのですが、15年経っても溶岩の迫力は凄かったです。
鳥居の上部まで飲み込んだ溶岩、海まで流れ出した溶岩、改めて自然の前では人は無力であると感じました。都会にいと自然の驚異を忘れていた私達、思い出深い現場になりました。



東京支店 藤田浩嗣

本社会社見学 受付のおしらせ



フジタでは、よりフジタ製品を知って頂けるよう工場見学を始めました。
カタログだけでは伝わらないフジタの魅力をぜひ観にいらして下さい。

受付期間：2015年4月14日～2015年11月20日（土・日・祝日を除く）
見学開始時間：午前11時～、午後2時～

※1日2名4組までとし、法人の方に限らせて頂きます。
※すでにお申し込みを頂いている場合や、機械メンテナンス等によりご要望にお応えできない場合がございます。予めご了承下さい。

今月の

1 ホンアイテム

今月ご紹介するのは、シャープな印象「FAプレート」です。



FA200

今回ご紹介するのはアルミフレームの「FAプレート」です。
軽くて強いアルミ製金具で、シンプルがゆえに場所を選ばない室名札のため、多くの施設でご活用頂いております。

サイズも幅広くあるので部屋の用途に合わせて、室名のみ室名札にしたり、ピクト表示をするピクトサインとしてご利用頂けます。

通常はアクリルの地の色を活かしますが、木目画像やお好みの色に印刷することも可能です。

施設の雰囲気に合わせたカラーリングでサインをご検討されている方はぜひお気軽のお問合せください。



FAY200 木目調に印刷



NS-FAY200 ブルーに印刷



先月、フジタ社員研修で高知県を訪れました。なんと高知空港内、検査場でFAYB3を発見！



まめ知識 コ～ナー 今回は「点字サイン」



先日大阪で開催されました「SIGN EXPO 2015」という広告資材(看板)の展示会に出展いたしました。私も2日間展示ブースにたちご説明をさせていただいたので、そのときに展示していた点字サインに関してご興味をもっていた方が非常に多かったので、今月は点字サインについてお話をしたいと思います。実は2年ほど前にこの「FUJITA TIMES」で点字の基礎をご紹介させていただきました。そのときは、点字は「6つの点が1ブロックでその6つの点のうちどの点を盛り上げるかによって文字を表す」という基礎中の基礎のお話をさせていただきましたが、前回とは違った角度から点字をご説明します。

点字サインの 大きさ

横1m x 縦60cmがJIS規格で定められている点字サインの最大サイズとなります。大きすぎる点字サインは、視覚障害者の方にとって非常に判読が困難です。両手を伸ばして無理なく触れるということで、上記の最大サイズが決められています。

点字サインの 設置高さ

床から1m35cm～1m40cmが点字サインを設置するときの基準となります。個人差はもちろんありますが、直立して手を前に差し出したとき自然に触れることができる高さが基準となっています。

点字サインの 表示方法

点字は基本的に平仮名による表示になります。(記号の組合せで数字やアルファベットの表現は可能ですが)点字を表現するとき、私たちが使っている表示方法とは違った表示になる場合があります。例として「総務課」という漢字を平仮名に直すと「そうむか」と書きますが点字で表す場合には「そーむか」が正しい表現です。また「私は」といったときに使う「は」は点字では「わ」を使います。



まだまだご説明したいことはあるのですが、スペースの都合上今回はここまでにします。今までご説明をしてきたように、点字には様々なルールがあります。株式会社フジタは点字サインのメーカーとして、利用される方の立場に立った正しく判読しやすい点字サインをご提供していけるよう心掛けていきたいと思っております。



京都めぐり

フジタの本社は京都にあります。
地元ならではの京都の魅力をご紹介します。
今回ご紹介させていただくのは「愛宕山 千日参り」です。



check



京都市山科区

京都観光Navi
<https://kanko.city.kyoto.lg.jp/>

京都めぐり7月は京都市右京区の北西部にある「愛宕神社」をご紹介します。
京都盆地の北西部に標高924mの愛宕山があります。京都東北にそびえる比叡山と並び、愛宕山は古くより信仰の対象とされました。その愛宕山にある「愛宕神社」で毎年7月31日の夜から8月1日早朝にかけて「千日参り」が行われます。愛宕神社は防火・鎮火の神として古くから崇められているのですが、千日参り(正式には千日通夜祭と呼びます)の日に参拝すると千日分の防火ご利益があると云われ、毎年数万人の参拝者で境内参道は埋め尽くされます。

実は私自身は千日参りに行ったことがありません(もしかすると幼少の頃に行っており、覚えていないだけかもしれませんが)。数年に1回程度母を千日参りのスタートである清滝まで送っております。今まであまり注意して見ていなかったのですが、昨年何年かぶりに母を送った時に参拝者の数、特に若い参拝者の数にとても驚きました。正直参拝者はどちらかというとご年配の方ばかりで、若者は殆どいないに違いないと勝手に思い込んでいたのですが、高校生ぐらいの数人のグループや、小さなお子さん連れのご家族など実に幅広い年代の方が参拝をされていました。夜に山に登るといって、どうしても安全が気になってしまうのですが、清滝から山頂愛宕神社までの約4kmの登山道(表参道)には明かりが翌朝まで点灯され、すれ違う人も気さくに声を掛け合って歩く雰囲気はかなり安全性も高いようです。

7月31日の夜から8月1日の早朝にかけてと非常にピンポイントな行事のため、なかなか気軽にはいけないかもしれませんが、だからこそ是非一度体験していただきたいと思います。

本社：今井



会社看板の業務 杉原典子 入社4年目 東京支店勤務



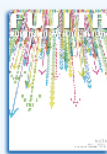
フジタの子会社で、通信販売を行っている株式会社ブリッジワンのスタッフの杉原と申します。会社看板や寄付者銘板、機械銘板などのサイト運営と販売を担当しています。会社看板の通販サイトでは自社の会社看板を製作される方々がメインとなり製作にあたりお客様とデザインの打合せをしたりご希望を聞くことが多いです。お客様のご意見・ご要望を基に、新しい規格商品ももっと作っていきたくと思っています。最近では、神社や学校の寄付者銘板のご注文もいただけるようになり、ネット販売の枠にとどまらず、様々な分野に広がっていただけたらと思っています。これからもスタッフで協力し合い頑張っていきたいと思っています。
サイトURL <http://www.order-kokuban.com>



カタログご請求・会社見学も随時受付しております。

詳しくはHPまで <http://www.fujitanet.co.jp>

総合カタログ配布中!



[Vol.14]

本会社見学開始 受付中!



ECOへの取組み

フジタ京都本社にはソーラーパネルがあります!



3.11東日本大震災を契機に弊社でも、「限りある資源」を考え京都本社ビルに、ソーラーパネルを設置し、社内照明をLEDに変えました。オフィス内に電気使用量の測定器を取付けし、社員ひとりひとりのECOへの意識が高まっています。

【お問い合わせ】 株式会社 **フジタ** ご連絡を頂きましたら、担当者が迅速に対応いたします!

京都本社
担当：今井
 Tel. 075-592-7550 Fax.075-592-7524
E-mail:info@fujitanet.co.jp
〒607-8147 京都市山科区東野森野町 46-4

東京支店
担当：鳥羽
 Tel.03-3556-6540 Fax.03-3556-6931
E-mail:tokyo@fujitanet.co.jp
〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 プライムビル6F